

11月 CEI3*エンデュランス世界選手権チャレンジカップ大会会場である、伊豆高室山ホース・カンツリーで、11月13、14日の二日間、FEI公認一般獣医講習会を開催いたしました。

アメリカ、オーストラリア、タイからの参加者が4名、日本からは11名の参加者となり、大変盛況でした。朝早くからの受付開始後、夕方5時までみっちりとカリキュラムが組み立てられ、内容の濃い講習会だったようです。

講師には、日本でおなじみのトムリンソン獣医とオーストラリアから大会にはじめて参加いただいたブライアン・シーハン獣医のお二人をお迎えしました。



11月15日、高室山ホース・カントリーで、ベストセラー作家村山由佳さんの講演会が開かれました。

講演会には100名近くの聴衆の方が集まり、大盛況でした。

多くの皆さんが彼女の著書『天翔ける』を持参し、サインを頂きました。

村山さんにはライダーズ・ミーティングの後の懇親会にもご参加頂き、今までの取材を兼ねた大会参加時の、多くの知人の方々と旧交を温めていました。



エンデュランス・世界選手権チャレンジカップ CEI3*大会 2013 年 11 月

獣医検査当日は雨模様。馬道がぬかるむことを心配したが、大会当日晴天になり、かろうじてコンディションは保たれたようだ。

3*160km 出場人馬 8 人馬、2*2 人馬、JEF120km1 人馬、JEF80km7 人馬参加。

さらにトレーニングライド 60km3 人馬、40km4 人馬、20km1 人馬の参加で、総計 26 人馬の大会参加数となった。

3*の 8 人馬は、CoC 取得を目指して、より平坦となったコースを疾走。

しかし、第 1 レグで、思わぬ花子の失権。失権理由は後肢を滑らせたことによるもの。第 2 レグでスピリッツ号騎乗のライダー理由により棄権。第 3 レグで勝太郎号代謝異常失権、ケースター号、跛行失権、さらに第 4 レグでギィタップ号も跛行失権となり、4 人馬が失権、1 人馬が棄権。失権理由を見ると高速コースの走行スタイルが、人馬でかみ合わなかったことが大きな理由と推測できる。

久しぶりに大会復帰の佐々木ライダー騎乗のレッド号はさすが安定感がある。平均走行時間 15.7km で 1 位、BC 賞受賞の強さを誇った。レッド号にぴたっと追走した広橋・ラッキー号組は 2 位、平均走行時間 15.2km で CoC をクリア完走。全 6 レグを慎重に走行した小森・ディアゴ号組は、慎重過ぎた走行が CoC タイムにわずか 6 分不足というもったいない結果となった。



CoC 取得 CEI3*160km 優勝と BC 賞受賞のレッド号と佐々木ライダー



160km2 位、CoC 取得の広橋ライダー

120km2*走行の柳・ファウスト号組は時速 12.6km で走行、優勝と BC 賞受賞。
JEF120km 参加の村井・若葉号組はリチェックで失権。JEF 参加メンバーは CEI 競技ではよくあるリチェックに慣れていないので、その間のケア方法などに更なる工夫・研究が必要と痛感する結果となった。



2*優勝と BC 賞受賞の柳ライダー



JEF80km 優勝の高鳥綾子ライダーとサツキ号



JEF80km2位とBC賞受賞の高鳥勉ライダーとユキツバキ号

JEF80km は 7 人馬が参加、高鳥綾子・サツキ号組と高鳥勉・ユキツバキ号組は人馬の構成を変更したことが大成功で、見事に高鳥綾子・サツキ号組が平均走行時速 11.7km で優勝。高鳥勉・ユキツバキ号組は時速 11.5km で 2 位、BC 賞受賞のすばらしい結果となった。3 位、4 位は、佐藤ライダー・ゲンジ号組時速 9.7km、平川弘美ライダー・ムーン号組、時速 9.6km で、80kmJEF は 4 人馬が完走。残念ながら 3 人馬が完走ならず。

トレーニングライドの 60km は、寺町・ムーンライト号組、元吉・ミルクィ号組、倉持・コリン号組の 3 人馬が完走。40km トレーニングライドは、北村・かすみ姫号組、吉川・咲亜紗号組が時速 8.7km、石川・立春号組、岡本・姫桜号組が時速 8.2km で完走。4 人馬すべて完走。20km の杉山・モーニング号組は順調に完走。

今後のますますの活躍を期待したい。